

## 中小企業経営改善・地域活性化のための取組み状況

### I 取組方針

当金庫は、信用金庫の存在意義は「地域密着型金融」に徹することであるとの認識のもと、当金庫設立時から行ってきた「地域密着型金融」をさらに深めるべく、平成15年4月から様々な計画に基づき事業を展開してきました。

今後もその取組みをより充実させ、新たな取組みも積極的に行い、地域経済の発展に取り組んでまいります。

これらの取組みについてお客様にご理解をいただくため、ホームページやディスクロージャー誌に取組み内容を掲載し、情報の開示に努めます。

その一環として、平成30年度の実績をここに開示いたします。

### II 具体的な取組み

#### 1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

##### (1) 創業・新事業支援

平成30年度創業支援実績 5先 126百万円

- ①福島大学地域創造支援センター連携コーディネーター等連絡会議に参加し、積極的に取引先企業の支援強化に取り組んでいます。
- ②創業、第二創業、独立開業、ベンチャー企業への県制度融資を利用した支援を行っています。
- ③いわき市中小企業融資制度や創業者支援融資制度を取扱っています。
- ④「いわき市中小企業・小規模企業振興会議」を通じて、新規創業や経営基盤の強化等、活力あるいわき市を創生し、豊かな地域社会を形成する課題に取り組んでいます。
- ⑤いわきリエゾンオフィス企業組合と連携し、「いわきビジネスプランコンテスト」参加者の具体的な事業化希望に対する金融上の相談・支援に取り組んでいます。

##### (2) 経営改善支援

- ①公認会計士との顧問契約により、事業・経営支援を行い、また税理士との顧問契約により税務相談の定期開催を行っています。
- ②経営支援を専門とする部署である審査部経営支援グループ及び、各営業店に経営支援担当者を配置しています。審査部経営支援グループに2名、各営業店に経営支援担当者1名を配置し、債務者のランクダウン防止とランクアップに努めています。
- ③「総合相談センター」平店、小名浜店のスタッフは合計5名体制で、年末年始と祝日を除き土日も営業しており、消費者ローン、事業資金、新規起業、年金等のお客様の様々なご相談に応じております。平成30年度の相談件数は2店舗合計で98件となりました。
- ④城南信用金庫主催2018“よい仕事おこし”フェアに当金庫取引先が9社出展しました。
- ⑤一般社団法人東北地区信用金庫協会主催ビジネスマッチ東北2018に当金庫取引先が7社出展しました。
- ⑥福島県中小企業再生ファンドに対する出資をしています。



当金庫取引先9社出展  
2018 “よい仕事おこし”フェア  
平成30年9月19日・20日(東京国際フォーラム)



当金庫取引先7社出展  
ビジネスマッチ東北2018  
平成30年11月8日(夢メッセみやぎ)

#### 経営改善支援の取組み実績

平成30年度(平成30年4月～平成31年3月)

(単位：先数)

		期初債務者数	うち経営改善支援 取組み先 $\alpha$	うち期末に債務者区分が ランクアップした先数 $\beta$	うち期末に債務者区分が 変化しなかった先 $\gamma$
正 常 先	正 常 先	1,377	0		0
	うちその他要注意先	209	12	0	10
	うち要管理先	0	0	0	0
破 綻 懸 念 先	55	17	0	17	
実 質 破 綻 先	50	0	0	0	
破 綻 先	15	0	0	0	
合 計		1,706	29	0	27

注)・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む)であり、個人ローン、住宅ローンのみを含んでいません。

・ $\beta$ には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。

・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めておりません。

$\alpha \neq \beta + \gamma$  (ランクダウンや償還の場合 $\beta$ に含まれませんので、合計が合わない場合があります。)

### (3) 事業再生支援

- ① 審査部経営支援グループと営業店・顧問公認会計士の連携を密にし、取引先の経営改善・事業再生の取組みを進めています。
- ② 外部機関の活用による事業再生支援を行っています。
  - イ. TKCいわき支部との連携  
TKCいわき支部の勉強会に参加して税理士との連携を図り、TKC加盟税理士の関与先企業に対する事業資金供給を目的とした「ひまわりTKC経営者ローン」を発売しています。
  - ロ. 法人会及び税理士会との連携  
福島県内の金融機関と法人会及び税理士会が連携を図り「法人・税理士会パートナーローン」の取扱いを行っています。
  - ハ. 福島県中小企業家同友会との連携  
「福島県中小企業家同友会メンバーズローン」を取り扱っています。
  - ニ. 「福島県よろず支援拠点」との連携による各種経営相談会の実施
  - ホ. 福島県中小企業再生支援協議会との連携による事業再生計画作成指導と再生支援に関する資金提供
  - ヘ. オールふくしま中小企業・小規模事業者経営支援連絡協議会との連携
  - ト. 日本政策金融公庫との連携(業務連携・協力に関する覚書締結)
  - チ. 東日本大震災事業者再生支援機構・福島県産業復興機構・福島県産業復興相談センター等との連携
- ③ 中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律に基づき、平成24年11月5日に経営革新等支援機関として認定を受け、経営改善・事業再生の支援に取り組んでいます。

### (4) 事業承継支援

身近な税務情報の提供や相談として、税務顧問が個人の相続や事業承継のための相談に応じています。

## 2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

### (1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み

- ① 商品名：「事業者長期サポートローン」  
平成21年6月より中小零細企業の金融の円滑化を支援するために「事業者長期サポートローン」を取扱っています。  
融資限度額 1億円以内  
融資期間 15年以内  
平成30年度実行額 118件 651百万円(累計1,475件 7,295百万円)
- ② 商品名：東日本大震災復旧・復興支援資金「ひまわり復興特別資金」  
平成23年7月より東日本大震災からの復旧・復興を支援するために「ひまわり復興特別資金」Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・とっかけを発売しています。  
〈平成31年3月末残高〉
 

パートⅠ	22件	814百万円
パートⅡ	39件	246百万円
パートⅢ	9件	113百万円
とっかけ	53件	1,105百万円
合計	123件	2,278百万円

### (2) 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み

- ① 外部研修への派遣  
東北地区信用金庫協会主催「目利き力融資推進」研修派遣
- ② 通信講座の受講  
簿記講座、融資講座、税務講座、審査管理回収講座他
- ③ 融資審査トレーニーの受入



### 3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

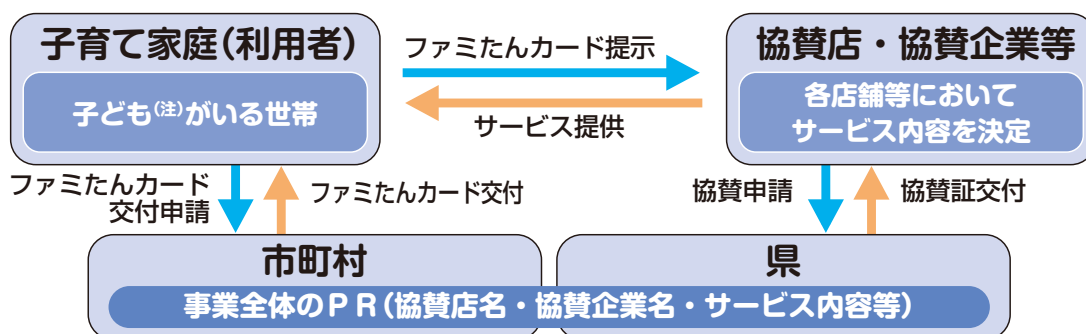
(1) 東日本大震災からの復旧・復興を図り、地域全体の活性化、持続可能な成長を視野に入れた同時的・一体的な「面的再生」への取り組み。

- ① 地域の企業等を対象にしたシンジケート・ローンやプロジェクト・ファイナンスには、内容を精査のうえ積極的に取り組むこととしています。
- ② いわき市及び福島県の縁故債には積極的に応札することとしています。
- ③ 様々な震災関係の公的制度資金の活用

福島県	平成30年度実行額	59件	1,040百万円	累計	517件	7,411百万円
いわき市	平成30年度実行額	10件	61百万円	累計	310件	2,219百万円

(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供

- ① 事業者長期サポートローン  
事業者向けに、運転資金や設備資金、また、取りまとめ資金として融資限度額1億円、返済期間15年の取扱いをしています。
- ② 子育て応援パスポート事業の推進  
福島県・市町村・事業者が連携して子育てしやすい環境を進める事業に参画し、子育て支援を行っています。イ、ファミたんカード所有世帯の定期積金金利を0.2%上乘せしています。



(注)「子ども」とは18歳に達した後の最初の3月31日を迎えるまでの方。

- ③ 社会福祉法人に災害備蓄用フリーズドライご飯を贈呈  
地域貢献活動の一環として、平成29年12月1日から平成30年3月27日まで取扱いいたしました、第10回地域貢献定期預金「心ときめき」のお預かり残高の0.01%にあたる1,358,091円により、いわき福音協会他3団体・障害者入所6施設に災害備蓄用フリーズドライご飯4,100個を寄贈させていただきました。
- ④ 地域社会への支援活動  
地域支援活動の一環として、当金庫の渉外活動を通じ、子供や高齢者の見守り活動を行うため、平成30年5月に「子ども・高齢者見守隊」を発足いたしました。



### Ⅲ 金融円滑化への取組み

当金庫は地域の中小企業および個人のお客様に必要な資金を安定的に供給し、地域経済の発展に寄与するため、以下の方針に基づき、地域金融の円滑化に全力を傾注して取り組んでまいります。

#### 1. 取組み方針

地域の中小企業および個人のお客様への安定した資金供給は、事業地域が限定された協同組織金融機関である信用金庫にとって、最も重要な社会的使命です。

当金庫は、お客様からの資金需要や貸付条件の変更等のお申し込みがあった場合には、これまでと同様、お客様の抱えている問題を十分に把握した上で、その解決に向けて真摯に取り組めます。

#### 2. 貸付条件の変更等の申し込みを受けた貸付債権の件数

##### 中小企業金融円滑化法施行からの実績累計

##### 【債務者が中小企業者である場合】

(単位：件)

	平成31年 3月末
貸付けの条件の変更等の申し込みを受けた貸付債権の数	3,395
うち、実行に係る貸付債権の数	3,317
うち、謝絶に係る貸付債権の数	19
うち、審査中の貸付債権の数	6
うち、取下げに係る貸付債権の数	53

##### 【債務者が住宅資金借入者である場合】

(単位：件)

	平成31年 3月末
貸付けの条件の変更等の申し込みを受けた貸付債権の数	118
うち、実行に係る貸付債権の数	114
うち、謝絶に係る貸付債権の数	0
うち、審査中の貸付債権の数	0
うち、取下げに係る貸付債権の数	4

### Ⅳ 経営者保証に関するガイドラインへの対応

当金庫は「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客様からのお借入れや保証債務整理の相談を受けた場合には、真摯に対応するための態勢を整備しております。

また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めております。

##### 【経営者保証に関するガイドラインの活用実績】

平成30年度(平成30年4月～平成31年3月)

新規に無保証で融資した件数	10件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	0.3%
保証契約を解除した件数	0件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数 (当金庫をメイン金融機関として実施したものに限る)	0件